

常新新聞

刊々日九月十

定部金貳錢 廣五號十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平長橋町三三五
 一ヶ月掛錢 告字詰一行 刊日曜大祭 發行所 常警毎日新聞社
 郵税五厘 料五十五錢 日刊日曜大祭 電話六三〇番

本社 同香地 (電話六三〇番)
 印刷所 常警毎日新聞社

愛と教育の種々相

高橋 濱吉 (十)

段々女學校、中學校の上級になると、自分は嘗て習つたことはあるけれども、どうも怪しくなつて来る。子供のほうが少し現代の知識が高いやうであります。先づ御婦人の方の讀まれる日本の本はどちらかと申しますと、或は「婦人世界」とか「婦人俱樂部」とか「キング」といふやうな盛り澤山の雜誌たる雜誌を一冊一ヶ月に讀

むのが關の山でせう。それを五十いくつ六十近くなつて、遙々大學の若い二十いくつの學生に伍して電氣の講義を聽いて、而かも、その目的は、自分の子供が正しき電氣學者になる爲めの話相手になつてやらう。かういふことを企てたのであります。さういふことを企ててをる御婦人の方、我が日本の國に幾人あるであらうませうか、アメリカに於ても、全部さういふ婦人ばかりとは言へますまい。たまたま食堂に於てぶつかつた御婦人が、かくの如き心懸のあるのを見て私は驚いたのであります。かくの如き

愛は太陽の光の如きものでありまして、或は春を齎らし、或は夏を齎らし、或は秋、冬を齎らします。春は總ての草木に對して温かき恵みを與へ、そして花は咲き、鳥は歌ふといふやうな定に温かい氣分を與へる所のものである。



貸家案内

仲間町勤人向金五圓五十錢
 柳町 全金 拾圓
 舊城跡 全金 七圓
 全 全金 八圓
 白銀町 全 金八圓五十錢
 全 商店向金貳拾圓
 全 料理店向金八十圓
 全 旅館向金八十圓
 五丁目勤人向金 五圓

加藤營業所

白銀町(電話三三番)

耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)

合津醫院

平町仲田町(電話五五九)

内科 院長 醫學博士 難波 睦 内科部長 醫學博士 中西 林藏 外科部長 醫學博士 皮部泌尿科專門 外科部長 醫學博士 氏家 憲重 (毎日曜手術) 醫學博士 桂 重次 産婦人科部長 醫學博士 松 枝茂 産婦人科 女子泌尿科	耳鼻咽喉科専門 部長 醫學士 井上 俊次郎 部長 醫學士 渡部 貞助 部長 醫學士 岡 賀澤忠治 部長 醫學士 賀 澤忠治 部長 醫學士 岡 賀澤忠治
---	---

× 光線新設 物理學的診療法
 主任 醫學博士 難波 睦
 衛生試驗所 技師 藤 波 睦
 衛生試驗所 技師 小 熊 英夫
 衛生試驗所 技師 吉 本 孝平
 衛生試驗所 技師 小 熊 英夫
 衛生試驗所 技師 吉 本 孝平

一、病氣相談所 (共濟病院内)
 一、救療を申込る、方は當相談所へ御話し下さい (共濟病院内)
 一、入院自炊ノ便アリ (共濟病院内)
 一、看護婦見習募集 (共濟病院内)

鳥松肉茸新式御料理
 美味……大勉強
 音 平町田町(電話三三六番)

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新瀉醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五三三番

業修者武本繪

此の篇は、武本繪の奇蹟的な人生を描いたもので、彼の苦しみ、涙、そして希望の物語である。彼の人生が、私たちに何を教えるのか、それは、私たちが生きる上で、最も大切な教訓である。

主演 鈴木傳明、藤野秀夫、田中絹代、(彼と東京)(彼と田園)
 三曲 彼と人生 (姉妹篇)
 平 日活松竹 館
 學生デー 電四六六

阿康藥店

縣社下古鍛冶町(電話四四番)
 靈藥ムテキ
 スグキク……風、頭痛、ラヒト 有偽物
 効力本位……神經痛、ラヒト 要注意
 丹波博士創製 たんばあめ うまくてセキ
 セキ トメ がヨクトマル

平郵便局員が全部 出動して大童の勧誘

節約貯蓄獎勵の爲めに 年金と保険の加入を

平郵便局では備置通信局の命令に依り現緊縮内閣の方針に則り節約貯蓄の奨励をなす事となり過般來田村局長以下其の

實行方法

協議を重ねてゐたが此の機会を利用して管内全職に互り緊縮、節約、貯蓄について大宣傳を行ひ、其の實行方法として郵便貯金、郵便年金、簡易保険に

加入する 事を奨励

させる事となり此の程部内各町村長、郵便局長、各小

平町地方に……

盜賊の横行頻々 土藏破り目星つく

平町地方に最近頻々として盜難事件あり飯野村の土藏破り、湯本町に於ける四百圓窃盜、平町鐵道合宿所等未だに目星つかず平署では犯人檢舉に大奮となつてゐるがたゞ土藏破り犯人だけが目星ついただけで地方民は戦々恟々としてゐる

が映畫は左記の如くである

保險劇親、年金劇近郊夜強、貯金劇新生

賣行さ良し

平局の遷宮記念

平郵便局における神宮式年遷宮記念切手の賣れ行きは七日の締切りまでに一錢五厘切手七百枚、三錢同八百枚、繪葉書百七十組が飛ぶやうに賣れて局員を驚かしたが更に記念スタンプ捺印二百三五通、繪葉書五百八十七通、ハガキ八十四通の

映畫と講演

平局の宣傳

平郵便局及び仙台通信局主催にて十二日午後五時より藤田女學校に活動寫眞應用の國民經濟大講演會を催す

稻立毛品評

郡内各所に

石城郡農會では恒例に依り

愛兒

失つて悲嘆の餘り 轢死女の身元判明

昨報——石城郡内郷村御臺

境内常磐線の轢死女に就いては其筋にて捜査の結果

同郡湯本町大字湯本字吹谷白煉瓦職工織田定吾の妻マ

サ子(三)と判明したが同女は同郡草野村ト神谷字六十

枚戸田丈之助の次女にて三年前に前記定吾に嫁ぎ本年

一月男子を分娩したが去さ

八月十一日同兒が死亡した

爲め悲嘆に暮れて幾分精神に異常を呈し實家に戻つて

居た處体が大部快方に向つたので定吾方に歸る途中途

に自殺するに至つたのであり

兩校運動會

廿三日と廿七日

平第一小學校にては廿三日



家庭欄

草花種子が発芽しない時

草花の種子を上手に発芽させるには何としても適度の灌水をしなければなりません

又々延期

川瀬炭礦紛争

石城郡赤井村川瀬炭礦に於ける未拂賃銀一千二百圓の請求紛争事件に關しては縣特高課に於ても極力調停の勞をとつてゐるが曾社側では飽まで無い袖は振られぬで結局支拂契約期限の去る九月中旬に賃銀の幾部分をも支拂ふを得ず更に今月末日迄期間を延長することになつた

海岸軌道重役

石城郡小名濱町警備隊海岸軌道會社では此程重役會を開いた結果社長に小野晋平氏支配人に星三郎氏就任決定した

記念章傳達式

石城郡植田町では來る十日午前十時から前佐川町長外十一名の御大典記念章傳達式を行ふ

明日の天氣

東南の風 次第に曇る

あります、種子の間から少々乾いてもよからうと云ふやうな考へは間違ひであります、その濕ほさを適度にたもたせる爲めに澆いた硝子か新聞紙或ひは藁などでその上に覆ひをして置く方が發芽のために大變好結果を與へます

今秋の折帽子 色は鼠か茶

元來中折帽子といふものはさう流行によつて型の變つたものではありませんが、昨年ころから著しい世界的傾向として帽子の型を整理してしまつた一つの流れがあります、それは鍔が狭目になつて山が高くなつた事で今夏の

麥藁帽子

にもすでに現れて居ります、色は殆ど鼠の濃いものか薄いものに黒色のバンド、あるひは茶色のこい薄いそれに地色より幾分こい目のバンドの

各會社に

よつて想をこらしてつくつた型が無難にあるわけですし、日本にも英國を初めとしてイタリー、フランス、アメリカ、ベルギー、チエッコ、スロヴァキヤ等の數多といふ多數の會社から數知れぬ多くの型の帽子が輸入されて來て居ます、相當の店にゆけばそれらの品がありますから自らおのれの容姿を考へおのれの趣味によつて思つ

御自分を

措いてはほかにないのであります、帽子のかむり方としてはよく鍔の左右をもつてかむつたり、中折にした處を無意識につまんだりしてかむつたりする方がありますが、このかむり方は結局帽子の鍔型や山の型を崩す原因となるもので

外國人等

は斷じてこうした冠り方をするものはありません、是非右手は帽子の前部の處、左手は後部の處の鍔をもつて軽くかむるべきで、さうすれば山の中が飛び出す様なこともなく、の型も崩れず結局

氣象に就て

石城地方の

平町十三日會は十三日午後六時半から常磐銀行樓上に開會「石城地方の氣象に就て」小磯一雄氏「南支那ヒッピン旅行談」藤沼醫師合弟藤沼隆次氏の講演ある

永く用ひ

られるわけです、ホンの一寸した御注意ですからは非實行してほしいものです、今秋の中折帽子の値段は大抵十圓位から四十五圓位の間にいろいろあります(遠藤帽子店談)